4・28沖縄デー カルチェ・ラタン 銀座 お茶の水 座 ルポ

サンフランシスコ条約第三条によって本土から切り離され、米軍政下に十七年、〝屈辱〟の沖縄デーが今年もまたやってきた。

この日、四月二十八日には全国各地でデモ・集会、学園ストが行なわれ、本土約一五万人、沖縄本島約一七万人、宮古・八重山約三万五〇〇〇人の学生、労働者、住民が参加し、戦後最大ともいえる盛り上りを見せた。

これは〝沖縄返還〟ムードの高まりによって現地の反応が盛り上ったこと、更に沖縄復帰協代表団の熱い突きあげによって東京における社共統一中央大会が実現したこと、などがあげられるが、今年も〝四・二八〟を特色づけたのは反代々木系全学連各派を中心とする学生群であった。

全国で約一万人を動員した全学連各派は、東大闘争など打ちつづく闘争で、新年オルグ（組織化・勧誘）が十分に出来ず、大衆規模による〝弾圧〟の痛手も尾を引き、動員数こそ少なかったが、各地で激しい直接行動を展開した。

特に東京では、反戦青年委員会・ベ平連を含め約八〇〇〇人が集会とデモを行ない、各所で機動隊と衝突、約一〇〇〇人が逮捕された。

この日の台風の目は「五者共闘」―〝四・二八〟にむけて中核・ブント・ML・第四インター・フロントの五派が結束したもの。

東大・早大・東京医科歯科大・慶大・法政大（二十八日早朝規制捜査）・本学などで夜を明かした「五者共闘」派学生は一震が関を「解放区化」、「首相官邸占拠」を呼号し、各所でゲリラ戦を展開しつつ東京―新橋付近に集結、再三霞が関官庁街に突入を試みたが、一万数千人の機動隊の壁にはばまれて果たせず、ターミナル周辺で機動隊との間に激しい攻防戦を演じた。

巧妙なゲリラ戦術

台風の目だった五者共闘

総じて「五者共闘」内部においては七〇年安保、学園紛争を押えて組織温存をはかろうという声が強かったとみられるが、中核派をはじめとする強硬路線に押し切られた形となった。

一方、これとは対照的に自らの方針を置いたともいえるのが革マル派である。拠点校の早大から高田馬場―大手町駅と機動隊のいない場所で坐り込み集会を開いただけにとどまった。

ベ平連が全学連各派とハッキリ同調した形で動いたのも、今回の大きな特徴といえる。常盤橋公園―数寄屋橋交差点―新橋・上橋のコースを静々と通る約二〇〇〇人のデモ隊は、学生を元気づけ、再結集させた。

ゲリラ戦が巧妙になったのも目だったことの一つである。革マル派の「アメリカン・プレスセンター」突入、全中闘の首相私邸への投石攻撃、フロントなどによる交番襲撃、渋谷騒乱―などの奇襲戦法に、おとくいの神田カルチエ・ラタンと群衆巻き込み作戦を加えるそのやり方には、確かに手慣れたものが感じられる。

しかし、この高揚が数時間の夢と消えさらないためには〝反戦返還〟の道を歩みだしたといわれる沖縄の百万島民と、全国で三七校もがストを行なう「大学」とを自らの基盤として捉え直す以外にないという声が高い。

秋葉原―東京

午後九時すぎ頃に二東京駅に中核、秋葉原に革マルが集結―との情報を耳にした記者は明大前での学生、機動隊による攻防戦をあとに国電お茶の水駅に向かった。

駅前にはお茶の水交番を中心に機動隊が厳重な警備にあたっている。お茶の水駅のすぐ北側にある東京医科歯科大学の校舎や付属病院に昨日からたて籠っていた二京組も含めた反日共系学生約一〇〇〇人は病院前で機動隊とわたり合い十数名の逮捕者を出したが、三々五々新橋方面へ向かった。

お茶の水駅は構内での混乱を避けるため朝から三つのシャッターのうち二つを完全に閉鎖。残りのシャッターも半閉きにしたため駅の中は薄暗い。

秋葉原に着いた頃には、中央線山手線とも全面ストップになった。秋葉原では別段不穏な動きが見られなかったため急いで東京駅へ徒歩で向かった。

国電不通のニュースに通行人の流れは定まらない。東京駅に向かっている途中、常盤橋公園でベ平連の集会・デモに会った。人員は約三〇〇〇人を数え、本学、慶大独協大など多数の旗が林立している。「今日のデモはあくまで機動隊との衝突は避けてゆきたいと思います」という学生の声も聞こえる。人垣の中央に小田実氏の顔がチラッとみえた。

六時四十五分に東京駅に到着。

〝オキナワカエセ〟と叫び、「沖縄返還を支持する」と書かれた横幕を持った二人の米人が、丸ノ内北口から出て来た。周辺を歩いていた通勤客から一勢に拍手が起った。

「国鉄」と印された腕章をまいた人にデモ隊の動向を聞くと、東京駅から線路伝いに新橋方面へ向かった後だった。

時おり聞こえるけたたましいサイレンの音。有楽町方面に飛びかうヘリコプターが点滅する二、三の灯に「現場が近い」と緊張しながら有楽町駅へ向けて急いだ。

5：00 法政大、凶器準備集合容疑で学内捜査、学生側事前に退去。火炎ビン、ゲバ棒など押収。

7：00 革マル派学生２６人が六本木の在日米陸軍東京管理部に乱入。「沖縄人民解放」などのタレ幕をたらす。

11：00 東京医歯科大を占拠していた社学同、中核系の学生９００人お茶の水駅で機動隊と衝突。

14：10 中核派３００人国電大塚駅より角材、鉄パイプの武装で東京駅に集結。武装学生続々着え山手線ホームに2500人集合。

16：00 お茶の水の明大前通りで社学同系学生と機動隊の激しい投石の攻防戦

16：30 中核派５５０人東京駅のホームに座り込み。ML派・全中闘佐藤首相私邸を襲撃。

17：30 中核派学生をはじめとするデモ隊線路上を歩き出す。線路上の石を拾い集め新橋駅まで歩く。機動隊浜松町駅よりガス弾で規制はじめる。学生側いっせいに有楽町駅に出る。有楽町駅付近の規制で学生多数逮捕される。

19：00 渋谷駅交番襲撃。有楽町、新橋一帯でゲリラ的な投石。

19： 常盤公園のベ平連銀座にむけてデモ行進。

20：00 数寄橋、銀治橋交番が襲撃、

23：00 解散集会などで終る。

4・28沖縄デー経過